

稲作情報

(傾穂期～登熟期の管理)

令和7年度 第4号

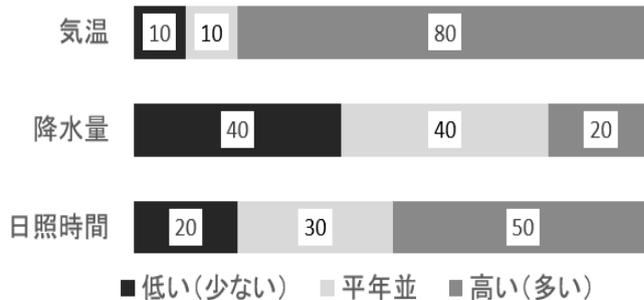
令和7年8月18日発行、福島県会津農林事務所喜多方農業普及所、JA 会津よつば、喜多方市、北塩原村、西会津町

斑点米カメムシ類防除の徹底と、適期刈取で品質向上を図りましょう！

1 1か月予報

- ・向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- ・平均気温は高い確率80%、降水量は平年並または少ない確率ともに40%、日照時間は多い確率50%です。

仙台管区气象台、8月7日発表



2 出穂後の水管理

- ・出穂後は、間断かんがい(又は飽水管理)で根の活力維持を図るとともに、開花後25日頃までは米粒が急激に肥大するので、土壤水分が不足しないようにしましょう。また、落水は出穂30日後を目安に行ってください。
- ・特に、出穂後20日間の平均気温が26℃を超すと白未熟粒が増加しますので、高温が続く場合は、飽水管理でほ場が乾かないように注意しましょう。

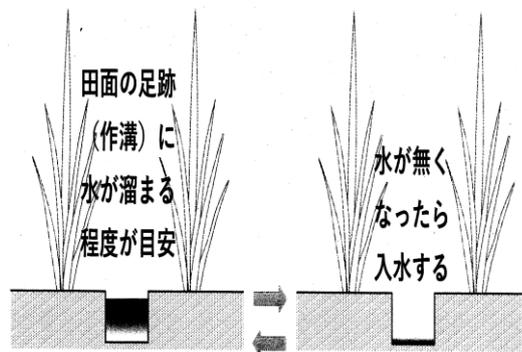


図 飽水状態の水管理

3 病害虫対策

(1) 斑点米カメムシ類防除

- ・今年是全国的に斑点米カメムシ類が多発していますので、適期防除により斑点米の発生を抑えましょう。粉剤や液剤による防除適期は、乳熟期(出穂7～10日後)です。その後も発生が見られる場合は、7日おきに追加防除を行きましょう。
- ・また、出穂後はカメムシ類を水田内に追い込むことになるので、畦畔の草刈りを8月末頃まで控えましょう。



カスミカメムシ類



クモヘリカメムシ

「斑点米カメムシ類防除薬剤の例」

(薬剤名)	(使用時期)
スタークル粉剤DL	収穫7日前まで
スタークル液剤10	収穫7日前まで
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで

(2) 穂いもち対策

- ・ 葉いもちが発生していますので、いもち病を確認したら粉剤等で防除を行ってください。

4 収穫、乾燥・調製

(1) 適期刈取

- ・ 高温時は登熟が早まるとともに、刈遅れると胴割粒が発生し品質が低下します。刈取時期の目安は、概ね出穂後40～50日で、出穂後の積算気温が950～1050℃に達し、籾の黄化率が80～90%になった時期です。また、積算気温が1200℃を超えると胴割粒の発生が急激に増加しますので注意してください。なお、天のつぶは収穫期になっても穂軸に緑色が残る場合があります。

【品種別刈取適期の積算気温】

ひとめぼれ：950～1000℃、天のつぶ：1000℃前後、コシヒカリ：1000～1050℃

【今年の主な品種の出穂期】

ひとめぼれ：7月29日頃、天のつぶ：8月1日頃、コシヒカリ：8月8日頃

【出穂日と積算気温到達日の予想】

出穂日	950℃	1000℃	1050℃	1100℃
7月25日	9月1日	9月3日	9月5日	9月7日
7月31日	9月8日	9月11日	9月13日	9月15日
8月5日	9月15日	9月18日	9月20日	9月23日
8月10日	9月21日	9月24日	9月27日	9月30日

※8月7日までは実測値（日平均気温）、以降は平年値で積算。アメダス喜多方のデータを使用。

(2) 乾燥・調製

- ・ 乾燥温度は、籾水分25%で送風温度40℃以下、乾燥速度（乾減率）は毎時0.8%を目安とし、仕上げ水分は15%にしましょう。また、籾水分のバラツキを解消し過乾燥や胴割による品質低下を防ぐため、二段乾燥を励行しましょう。

5 その他

- ・ 雑草イネは、出穂後2週間頃までに抜き取り処分しましょう。雑草イネの特徴は、①出穂期や草丈が違う、②籾の色が褐色～黒色、③籾の先端や芒が赤い等です。
- ・ 稲わらのすき込みは、秋に行うと腐熟が進み移植後の還元が軽減されます。実施する場合は、収穫後できるだけ早く行い、稲わらの分解を促進させましょう。石灰窒素の施用が効果的です。

※ **熱中症に注意!!** 暑い時間帯の農作業を避け、こまめに水分補給をしましょう。
農薬は、使用回数や使用量等に留意し、ラベルをよく確認して使用しましょう。
水は貴重な資源です。用水のかけ流しは控えましょう。

★ 本情報の内容や米づくりに関する問い合わせ・相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5745

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801